

なんかい、101号

2016年2月1日発行

南海寮 広報委員会

熊本県天草市本町下河内1685番地の1

TEL 0969-23-3850

FAX 0969-22-4977

Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.nankairyou.or.jp/>

申年、年男・年女を迎えた皆さん



一歩前に踏み出す勇気を

施設長 松浦郁太

今年はマイナンバー制度や18歳の投票も始まり、TPPも大筋合意との事で私たちの生活にどう影響を及ぼすのか興味と関心のあるところ です。

社会福祉法改正案が1月の通常国会で成立する見通しで、社会福祉法人制度改革の内容は①経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性の向上③財務規律の強化④地域における公益的な取り組みを実施する責務等で、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人が求められています。障害者総合支援法施行3年後の見直しでは、障がい者の地域生活や社会参加に対する更なる支援の充実、ニーズに対するきめ細やかな対応、質の高いサービスを持続的に提供していく為の環境整備等が上げられているが、詳細な内容等については今後注視していかなくてはと考えています。

当法人も昨年40周年を迎え、記念誌の発行だけで特に大きなイベントはありませんでしたが、先人や関係者の皆様の御苦労とご尽力

により今日があること、歴史の重みを感じ、新たな歴史を築き、進歩・発展させる責務があると職員一同で認識を新たにしたいところです。40年経過し、建物や設備の老朽化も目立ち、今後はハード面の整備も大きな課題だと思えますし、準備を進めて行きたいと考えています。

制度改革が待ったなしの時代を見据えた取り組みは、不可欠だと思いますし、サービスの質の維持・向上はもちろん、顧客ニーズにどう応えるか、事業所の存在価値や事業を知ってもらう為の広報活動、地域貢献等さまざまな取り組みを一人ひとりが知恵を絞り、組織の力を結集し、変化を遂げる社会に対応できる様にして行かなければと考えています。

一歩前に踏み出す勇気を持って確実に歩みを進め、進歩・発展する法人・施設に。10年後20年後も選ばれ続ける事業所を目指し、今何ができるか、何をしなければならぬかを考え、行動し、成果に結びつけられる様、職員の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。今年も関係各位の皆様のご支援・御協力をお願い致します。



11月
23日

本町ふるさとまつり

地域のおまつり見学

本町鈴木神社にて、ふるさと祭りがあり参加されました。今年は天候にも恵まれ、皆さんそれぞれ鈴木神社への参拝を行われる方や出店で買い物を行ったり、フードコートでうどんやおでんなどの食事を楽しまれた方などそれぞれでした。また、餅つきコーナーもあり頭に鉢巻を巻き威勢よく餅を搗かれる方や記念撮影を行う方もおられました。帰りの車内では「お腹いっぱい」「楽しかった」と話が尽きない様子で皆さん満足そうな顔が見られました。当施設の焼きトウモロコシ販売も評判良くあっという間に完売しました。今回も地域の方との交流も深まり楽しい一日を過ごすことができました。(唐津伸康)



12月
17日

餅つき忘年会

1年の締めくくり

一年の締めくくりの行事である餅つき・忘年会が行われました。今年も天草警察署若草会の7名の方にボランティアとして協力して頂き、利用者の皆さんと一緒に餅つきを行って下さいました。「がんばれー!」「よいしょ!」の応援の声や激しいきね使いに拍手が送られる場面もあり、皆さん搗きたてのお餅を堪能され、12月20日付けの熊日新聞でも紹介されました。

忘年会ではたくさんのご馳走を楽しまれ、カラオケ大会で自慢の声を披露されたり、思い思いに話に花を咲かせておられました。御協力いただきました関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。
(大中佑介)



1月
12日

どんどや

「できること」を大切に

新年を迎え、この時期の恒例行事となっているのが「どんどや」。昨年法人施設が40周年を迎え、新たな一歩を踏み出し41年目を迎える本年、利用者の方・職員共に健康で良い年となるよう祈願しました。

年末の餅つきや正月のお雑煮にと、お餅の提供が続きましたが、誤嚥等の事故もなく多くの利用者が、日本の食文化でもある「お餅」を十分に堪能されました。

障がい者施設や特養などの老人施設にとってお餅の提供には大きなリスクが伴います。ある事業所で「うちでは喉につまるからお餅の提供はしない」というのを聞いた事があります。施設によって利用者の嚥下機能の状態が違うため一概には言えませんが、もしこれが安心・安全を大義名分に、十分なアセスメントもなく安易に支援者が「お餅を食べる」という日常の当たり前の喜びを奪っていたらとても恥ずべき事です。確かに安心・安全は優先すべき事であり、事故を未然に防ぐ視点、危機管理は重要ですが、それと同等に、日常のささいな当たり前の生活や喜びを私たちは大切にしていかなければならないはずです。

当施設も嚥下機能に不安を抱える人には、お餅を普通の

形状で提供する事ができません。しかし当然ながら支援者が細かく千切ったり、お餅の部分を削いであんこだけを提供したり、お雑煮やぜんざいの提供時にはお麩で代用したりと、制限の中で最大限「できること」を管理栄養士や調理員・支援員が模索しながら提供しています。まだまだ検討の余地はあるにせよ、これはあらゆる支援の場面においても共通することであり、支援によってどのような可能性の広がりがあるのかという個別支援の基本でもあると思います。

例年同様お餅だけでなく、焼きイモや炊き出しの豚汁、炭火で焼いた焼きイカなどバラエティに富んだどんどやで利用者の方に楽しんで頂くことができ、改めて「食べる」という事が人にとって大きな喜びの一つであることを実感しました。この日常の何気ない当たり前の光景を今年も大切にしていきたいと思います。
(松浦光毅)



日帰り旅行 (11月)



衣類購入 (11月)



ふるさとまつり (11月)



餅つき・忘年会 (12月)



お正月・初詣（1月）



どんどや（1月）



修 告 研 報

障害者支援施設部会研修会大分大会

その人らしく生きるために何ができるか

支援員 松 浦 徳 彦

平成28年4月より施行予定となっている障害者差別解消法の説明、法制度改正の動向、発達障害の特性理解と意思決定支援についての研修となりました。

障害者差別解消法ではその中身と合理的配慮について具体的な事例を踏まえ検討していく内容で、話の中で「五体満足」

の乙武洋匡さんが、2階にある飲食店にエレベーターが無かった為、階段で運んで欲しいとお願いしたが、忙しく拒否され入店できなかった事例も紹介されました。現状では合理的配慮は事業所において努力義務であり店側に責任は無いとの見解でしたが、自分だったらどうするか

対応を考えるきっかけとなりました。

また発達障害の特性理解と意思決定支援の話では「障がいを持った人は生きにくさを感じているため、障がいの理解と受容が最も大切である」との言葉が印象に残りました。今回学んだ事を振り返り、研修テーマでもあった「その人らしく生きるために何ができるか」その人の立場にたって考えながら支援していきたいと思います。

修 告 研 報

初任者キャリアアップ研修

専門職としてのキャリアアップを目指して

支援員 西 岡 咲 貴

12月1日・2日の2日間、熊本県総合福祉センターで行われた平成27年度初任者キャリアアップ研修会に参加しました。

今回の研修会では、事前課題としてプロフィールシートを製作し参加。テキストの内容を確認して福祉の仕事をしていく中で大切な事を学ぶ事ができまし

た。福祉の仕事は大変な仕事ですがこれからニーズのある仕事でもあり、社会の期待がますます大きくなっている事や援助を必要としている人にとって不可欠な仕事である事を再確認出来ました。また仕事上でのコミュニケーションの大切さを学び福祉・介護の仕事はチーム

プレーであって職員間での厚い信頼関係をつくるのが大切だということも改めて感じました。

今の自分の目標として介護福祉士の資格をとる事を目標にしていきましたが、今回の研修会に参加し自分がかつと福祉の専門家としてキャリアアップできるように勉強し、介護福祉士もそうですがもっと上を目指し日々の支援も行っていきたいと思いました。

施設内研修テーマ

公益的な活動（地域貢献）への取り組み

社会福祉法人とは何なのか、どのような役割があるのか、何が求められているのか。今回「社会福祉法人であることの自覚と実践」をテーマにワークショップ形式で、今後自法人で取り組むことができる公益的な活動について検討しました。

昨今社会福祉法人は、地域ニーズへの不十分な対応や不透明な財務状況、内部留保等の指摘からその在り方が問われています。今求められているのは、これまでの社会福祉事業の中心的役割を果たすだけでなく、地域福祉の推進や、制度・市場原理では満たされないニーズなど今日的諸問題の解決にも取り組み、存在意義をアピールし地域の理解を得ていく必要があります。

とは言え、従来の社会福祉事業の質をしっかりと担保しつつこれらを並行して実施する事は容易ではありません。地域貢献活動を実施する事で、すでに実施している社会福祉事業を疎かにしては本末転倒です。積極的な活動が実施できるような環境整備が必要であり、サービスの

質向上や職員処遇の向上、人材育成等の取り組みを十分に行っていかなければなりません。

今回、具体的な地域貢献事業の企画考案までには至りませんでしたが、職員一人ひとりが社会福祉法人の使命と、その職務に従事する者としての自覚を再認識できた実りあるものであったと感じています。

これまで、私たちの法人でも日々の活動の中で、介護保険の優先原則の問題や医療行為が必要な利用者への対応等、既存の制度やサービスでは対応できない問題に直面し、その都度向き合い取り組んできました。しかし今後はより具体的にわかりやすい形で実践し、地域に発信していかなければならず、今後も協議を重ねていく予定ですが、地域貢献の「義務化」という言葉に強制させられるのではなく、皆が地域においてその必要性を感じ、率先して参画し取り組める事業にこそ目的を達成した時の充足感があり、地域に認知される継続した事業になり得ると考えています。



がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」
今回は平成27年11月から平成28年1月に受賞された皆さんです。

11月 (Nov)



黒木 俊介 さん
手伝いをがんばりました



濱洲 友和 さん
貼り絵作業をがんばりました



山崎 茂幸 さん
作業をがんばりました



吉永 佳央理 さん
カレンダーづくりを
がんばりました



渡辺 博子 さん
紙千切り作業をがんば
りました

12月 (Dec)



安達 太郎 さん
歩行をがんばりました



北 朋久 さん
空き缶の仕分け作業を
がんばりました



富田 純善 さん
木工作業をがんばりま
した



野元 とも子 さん
ビーズ通し作業をがん
ばりました



山下 金也 さん
歩行をがんばりました

1月 (Jan)



有江 康子 さん
紙千切り作業をがんば
りました



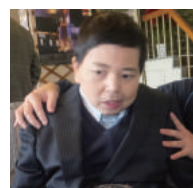
植尾 啓介 さん
給食の献立書きをがんば
りました



濱 毅 さん
洗面所の掃除をがんば
りました



前田 恵介 さん
リハビリをがんばりま
した



水上 義宏 さん
歩行をがんばりました

南海寮の やさいなえ



今年も例年通り、野菜の苗を仕立っています。
毎年、皆様にはご愛顧頂きありがとうございます。
昨今、野菜の値段も高騰しています。是非今回も
南海苗を利用して頂き、野菜作りを頑張ってみて下
さい。心をこめて仕立てていますのでご協力よろし
くお願いします。

4月より販売開始 各種1本60円

- | | |
|---------------|--------------|
| ★ナス(千里長茄子) | ★キュウリ(長華、南進) |
| ★ピーマン(エース) | ★カボチャ(エビス) |
| ★トマト(桃太郎) | ★オクラ(丸オクラ) |
| ★ミニトマト(ペペトマト) | ★シシトウ |
| ★カボチャ | |

お電話での注文随時受け付けております！【担当：森山】
TEL 0969-23-3850 / FAX 0969-22-4977

通所センターだより



今年は暖かい正月で過ごしやすくよかった。と感じた矢先、急に真冬の気候となり体調管理が難しいこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

センターの皆さんは、大変元気です…と言いたいところですが、咳や鼻水の方が少しずつ増えて来られています。

さて、新年を迎え1月4日に初詣に行ってきた。今年は本戸馬場八幡宮に参拝。神社に着くと迷わず境内へ進まれ、お賽銭を投げ入ると鈴を「ジャラジャラ」とらし、礼をして手を叩くという参拝の一連の動作を真剣な表情

で行われていた皆さんです。何を願われたのでしょうか。今年も楽しいこと、時には喧嘩や上手くいかずに嫌になる事もきっとあると思いますが、皆さんが健康でセンターに通って下さり、活動出来る事が一番です。その願いを込めて私もお参りさせて頂きました。

お正月の運動不足解消と体重増加への対策として、7名の方は帰り道、八幡宮からセンターへ向かって途中までの約1kmを、汗が滲むほどのペースで歩きました。(もちろん大仁田も) (笑) 今年もどうぞよろしくお願いいたします。(大仁田美穂)

職員研修会参加報告

- 全国日中活動支援部会職員研修(11月12日・13日) 櫻井・高瀬
- 県知的障がい者施設協会職員研修(11月14日) 大中他2名
- 九州地区知的障害関係施設長研究大会(11月18・19日) 中嶋・森山
- 障害者虐待防止権利擁護研修(11月26日) 倉田
- 福祉サービス苦情解決研修(11月29日) 唐津
- 強度行動障害支援者養成研修(12月1日・8日) 唐津・大中
- ビジネスマナー研修(12月4日) 小川
- 職場リーダー伝える力向上研修(12月8日・9日) 大仁田
- 行動援護従事者養成研修(1月16日・17日) 石原他2名
- 天草支援学校公開講座(1月22日) 松下加
- 相談支援事業連絡協議会研修(1月23日) 松本

今後の予定

- 3月 お楽しみ会
- 4月 家族会総会(面談会)

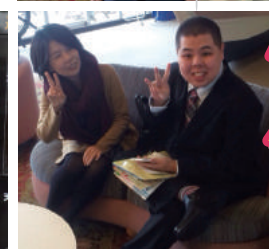
編集後記

新年あけましておめでとうございます。年が改まったことで、前年までの反省点や悪習慣をリセットしてやり直しができ、新しいことを始めるには良い機会だと思います。早速、年頭の目標を掲げそれに向かい日々過ごされている方もいらっしゃるかと思います。個人的には目標あまり高すぎず、無理をしない程度のもので、続けることを目標にし取り組んでいきたいと思っています。

本誌も101号の発行となり新たな一歩を踏み出しました。今迄の見直しをしながら、新しいことも取り入れて、読者の皆様に喜んでいただける紙面づくりに今後も励んでいきたいと思っています。

kazumi

おめでとうございます



写真上段左/泉まりのさん 上段右/岩崎康暢さん
写真下段左/松本元輝さん 下段右/金子 優さん

祝・成人

職員



社会人として自ら責任を持って行動し、日々の仕事をがんばります。
小川 明奈

元気いっぱい、笑顔いっぱいこれからもがんばりたいと思います。
西岡 咲貴

新成人としての自覚を持ち、笑顔で一生懸命がんばります。
松下ひかる

退職(平成27年12月12日付退職)

入 船 伸 枝(支援員)

一昨年出産をされ育児休暇中でしたが、育児専念のため退職となりました。

南海寮広報委員会

ご高覧頂き、ご意見・ご感想などありましたら keiyukai@cup.ocn.ne.jp までお寄せ下さい。
機関紙「なんかい」はホームページアドレス <http://www.nankairyuu.or.jp/> からご覧になれます。